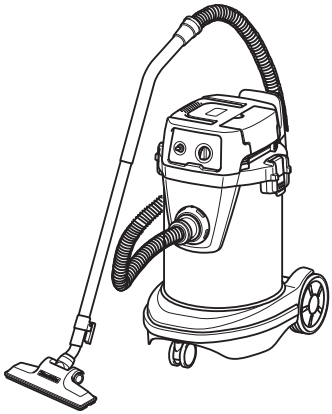
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書 集じん機

回 モデル VC3200
（乾湿両用）

回 モデル VC2200
（乾湿両用）



回
二重絶縁

このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。
マキタ製品は電気用品安全法に基づく技術上の基準に適合、または準じて（電気用品安全法適用外の製品）製造されております。

このたびは**集じん機**をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

・主要機能 ---------- 3
・集じん機の安全上のご注意 ---------- 4
・本製品の使用上のご注意 ---------- 6
・各部の名称および標準付属品 ---------- 8
・別販売品のご紹介 ---------- 10
・別販売品の使い方 ---------- 12
  ・紙パックの取り付け方 ---------- 12
  ・水用フィルタの取り付け方 ---------- 13
  ・水用フィルタの分解方法 ---------- 13
・使い方 ---------- 14
  ・ポリ袋の取り付け方 ---------- 14
  ・ホースの取り付け方 ---------- 15
  ・スイッチの操作 ---------- 16
  ・自動ちり落とし機能について ---------- 16
  ・プレフィルタの取りはずし・取り付け方 ---------- 17
  ・吸水時の自動吸い込み停止機構について ---------- 19
  ・ベースフックの使い方 ---------- 19
  ・ゴミの捨て方 ---------- 21
・運搬・収納 ---------- 23
  ・グリップの使用方法 ---------- 23
  ・キャスタの固定・解除 ---------- 23
  ・付属品の収納方法 ---------- 24
・保守・点検について ---------- 25
  ・パウダフィルタ・ダンパ・プレフィルタの清掃 ---------- 25
  ・水位センサの清掃 ---------- 26
  ・本機のお手入れ ---------- 26
  ・ご修理の際は ---------- 26

主要機能

主要機能＼モデル	VC3200	VC2200
電動機	直巻整流子電動機	
電圧	単相交流 100V	
電流	11A	
周波数	50-60Hz	
消費電力	1,050W	
最大風量	3.5m^3/ min（ホースコンプリート内径φ38mm-2.5m 使用時）	
最大真空度	22.0 kPa	
吸込仕事率	300 W	
集じん容量	32 L	22 L
吸水量	27 L	17 L
本機寸法	長さ 552mm ×幅 398mm ×高さ 685mm	長さ 552mm ×幅 398mm ×高さ 569mm
質量	16.6 kg	16.0 kg

- 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

集じん機の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

JPA009-1

⚠ 警告

安全作業のために：
ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
   - 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
4. 子供を近付けないでください。
   - 作業者以外、集じん機やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近付けないでください。
5. 作業に合った集じん機を使用してください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。
6. コードを乱暴に扱わないでください。
   - コードを持って集じん機を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
   - コードを熱、油、角のある所に近付けないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりしないでください。
7. 集じん機は、注意深く手入れをしてください。
   - 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
   - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
   - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
8. 次の場合は、集じん機のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
   - 使用しない、または修理する場合。
   - ホース、フィルタなどの付属品を交換する場合。
   - その他危険が予想される場合。
9. 不意な始動は避けてください。
   - 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⚠ 警告

10.油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 集じん機を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

11.損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、本機に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 部品交換や修理は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- スイッチで始動および停止操作のできない集じん機は、使用しないでください。
- 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至るおそれがあります。

＜異常・故障例＞

・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
・電源コードに深いキズや変形がある。
・コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
・焦げくさい臭いがする。・ビリビリと電気を感じる。
・スイッチを入れても動かない等

すぐに電源プラグを抜いてお買い上げの販売店へ点検、修理をお申し付けください。

12.正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

13.集じん機の修理は、専門店にお申し付けください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

本製品の使用上のご注意

先に集じん機としての共通の注意事項を述べましたが、電動工具用集じん機として、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB213-2

⚠ 警告

1. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
2. 保護めがねを使用してください。
・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
3. 以下のものは吸わせないでください。
・ 火のついた、たばこの吸殻など高温度のもの
・ 引火性物質（ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油、塗料など）、爆発性物質（ニトログリセリンなど）、発火性物質（アルミニウム、亜鉛、マグネシウム、チタン、赤リン、黄リン、セルロイドなど）
・ 火災の原因となります。
4. 排気口をふさがないでください。
・ モータが焼損し、火災の原因になります。
5. 定格 15 A 以上の電源コンセントを単独で使用してください。
・ 併用すると異常発熱による火災の原因になります。
6. 本機を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
・ 感電や故障の原因になります。
7. 転倒などによる本機の変形、破損防止のため、本機は静かに移動してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 吸込口をふさいで運転しないでください。
・ 過熱による本機の変形の原因になります。
2. 火気に近づけないでください。
・ 本機の変形の原因になります。
3. ガラス、カミソリ、押しピン、針などの鋭利な物は吸わせないでください。
・ フィルタ損傷の原因になります。
4. 本機上面を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
・ 急に本機が動き出し、転倒するなどけがの原因になります。
5. フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
・ モータ焼損など、故障の原因になります。

注

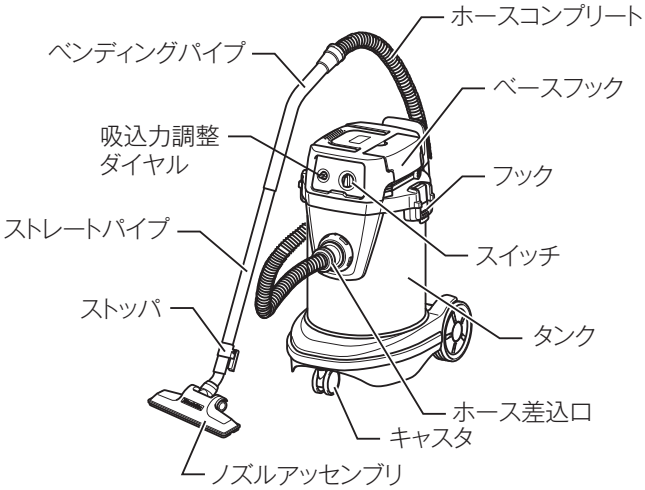
・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、本機を最高の能率で支障なくご使用いただくために、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できる延長コードの太さ（導体公称断面積）と最大長さの目安

コードの太さ（導体公称断面積）	銘板記載の定格電流値で使用できる長さの目安		
	～5 A	5～10 A	10～15 A
2.0 mm^2	50 m	30 m	20 m

・ 延長コードは本機のコードと同じような被ふくを施したコードを使用してください。

各部の名称および標準付属品



各部の名称および標準付属品

標準付属品

・ ホースコンプリート（内径φ38mm × 2.5m）
　部品番号：A-33532

・ ストレートパイプ
　部品番号：192563-1

・ コーナーノズル
　部品番号：410306-2

・ ベンディングパイプ
　部品番号：192562-3

・ ノズルアッセンブリ
　部品番号：122512-4

・ ポリ袋（1枚）（本機取り付け）
　（800mm × 650mm）
・ ポリ袋セット品（10枚入）（800mm × 650mm）
　部品番号：A-32340

・ アクセサリバッグ
　（ホース、パイプ等の付属品をまとめて入れておくことができます。）
　部品番号：A-46040

別販売品のご紹介

・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

ホース

口元ロック式ホース		内径(mm)	長さ(m)	部品番号
本機に直接接続してください。	ホースコンプリート	φ 38	2.5	A-33532
	ホースコンプリート	φ 38	5.0	A-33417
	ホースコンプリート	φ 28	2.5	A-51306
	ホースコンプリート	φ 28	5.0	A-34229
	ホースアッセンブリ	φ 19	5.0	A-34394
	デラックスホース	φ 28	5.0	A-30623

カフス（ホース先端の口径変更用）

	内径(mm)	外径(mm)	部品番号
フロントカフス 38	φ 38	φ 44.2	417766-9
フロントカフス 22	φ 22.4	φ 25.0	417765-1

・ 湿式ノズルアッセンブリ（湿式用）
部品番号 A-47846

・ パウダフィルタ
（本機は乾湿両用です。プレフィルタとダンパを併用してください。）
部品番号 A-56493

・ ダンパ
（本機は乾湿両用です。パウダフィルタ、プレフィルタとセットでご使用ください。）
部品番号 A-56518

・ プレフィルタ
（本機は乾湿両用です。パウダフィルタ、ダンパとセットでご使用ください。）
部品番号 A-56502

・ 水用フィルタ
（繰り返しの吸水をする場合にご使用ください。）
部品番号 A-59994

・ ノズルアッセンブリA(乾式用)
部品番号 122334-2

・ ラウンドブラシ
部品番号 191657-9

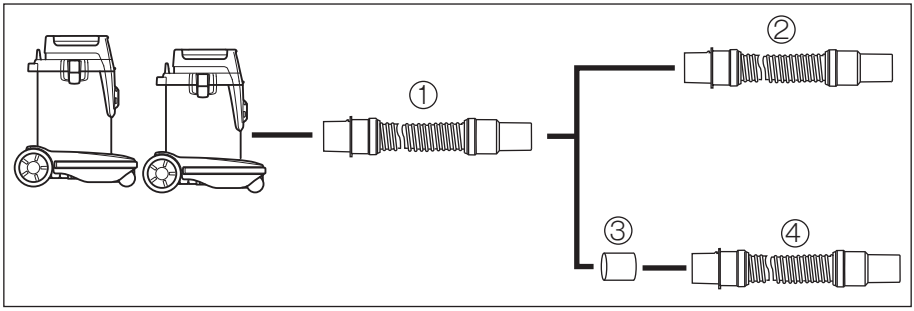
別販売品のご紹介

・ 紙パック（5枚入）
（紙パック使用時には、紙パックごと捨てることで、清潔にごみ捨てができます。吸水はできません。）
乾式ゴミ（粉じん以外）部品番号 A-48430
乾いた粉じん専用 部品番号 A-49557

・ 38mm ホースジョイント
部品番号 192204-9

・ アンカーノズル（口元テーパー式内径φ28mm のホースコンプリートとセットでご使用ください。）
部品番号 192236-6

標準付属品ホースを延長する方法



① 口元ロック式 38 ホース（2.5m）
部品番号　A-33532

② 口元ロック式ホース全種類
（但し、19mm ホース（5.0m）
部品番号　A-34394 は不可）

③ 38mm ホースジョイント
部品番号　192204-9

④ 口元テーパー式 38mm ホース（2.5m）
部品番号　A-34096

別販売品の使い方

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

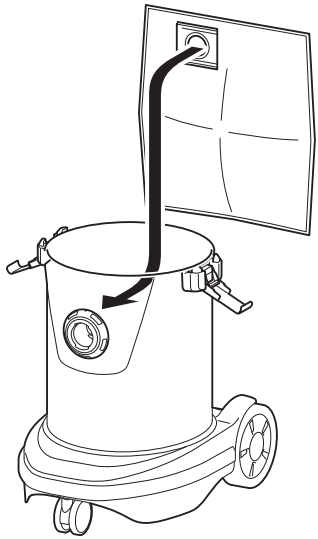
紙パックの取り付け方

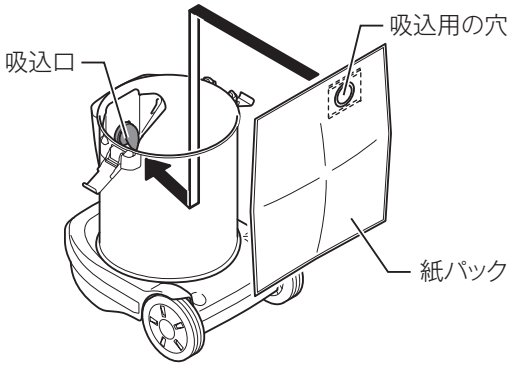
⚠ 注意

紙パック使用時は、水などの液体、湿ったゴミを吸わせないでください。

・ 破れる原因になります。

・ 紙パックを広げます。
・ 紙パックの吸込用の穴を本機の吸込口に合わせます。図の矢印方向へ、紙パックのボール紙が吸込口にある抜け止め突起より奥側になるように、しっかり差し込んでください。





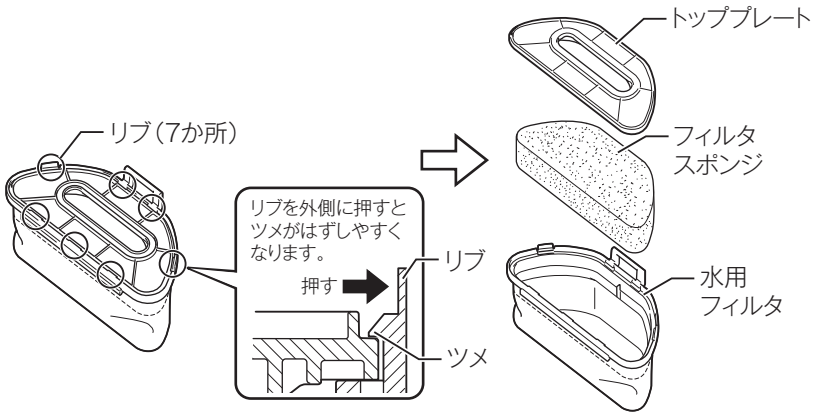
別販売品の使い方

水用フィルタの取り付け方

・ 水用フィルタの取り付け方は、標準付属のフィルタ取り付け方をご覧ください。（17ページ参照）

水用フィルタの分解方法

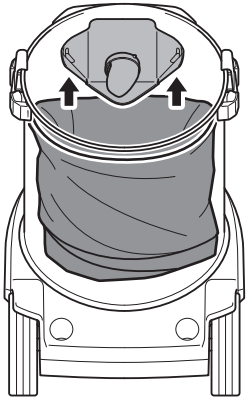
・ 水用フィルタのリブ（7か所）を図のように外側に押して、トッププレート、フィルタスポンジ、水用フィルタに分解します。

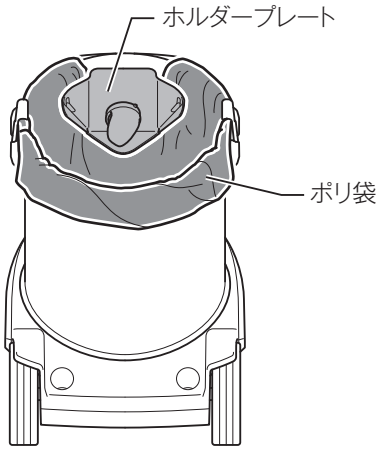


ポリ袋の取り付け方

（本機はポリ袋なしでも使用できますが、タンク内のゴミ捨てを行う際は、ポリ袋を使用することで手を汚さず簡単に行えます。）

- ポリ袋をタンク内で広げ、その一端をホルダプレートとタンクの間にはめ込み、タンクの口元まで引っ張ってください。
- ポリ袋をタンクの口元に沿って広げてください。
- タンクカバーとタンクの口元でポリ袋をしっかりはさみ込むようにセットしてください。





注

- 市販品のポリ袋（45L）が使用可能です。但し、厚さ 0.04mm 以上の物をおすすめします。また、ポリ袋が破れる恐れがありますので粉じんは溜めすぎずに捨ててください。

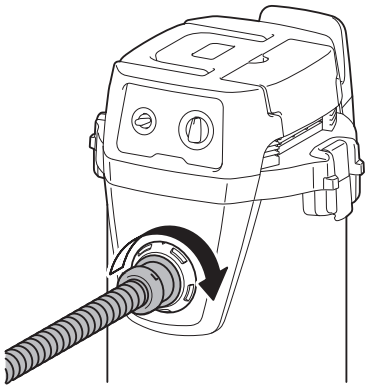
ホースの取り付け方

⚠ 注意

ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本機を移動させたりしないでください。

・ ホースの変形や破損などの原因になります。

・ タンク部のホース取り付け口にホースを挿入し、右方向に止まるまでまわして固定してください。



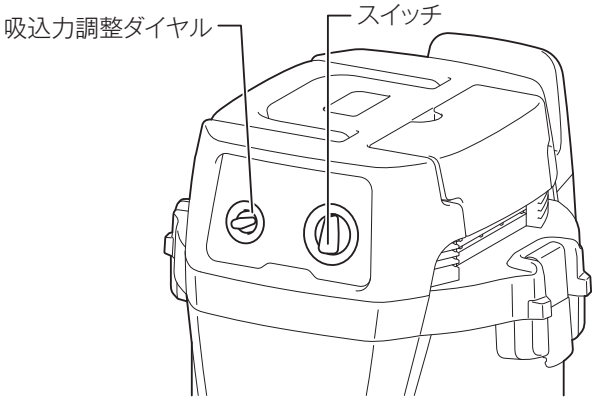
スイッチの操作

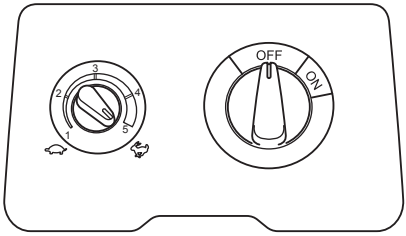
⚠ 警告

電源コンセントに電源プラグを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたまま電源プラグを差し込むと急に動きだし、事故の原因になります。

・ スイッチを入「ON」にすると運転し、切「OFF」にすると停止します。
・ 吸込力調整ダイヤルを1から5に回すにつれて吸込力が強くなります。
・ 作業に合わせて吸込力を調整することができます。



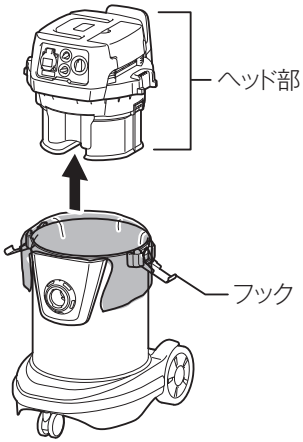


自動ちり落とし機能について

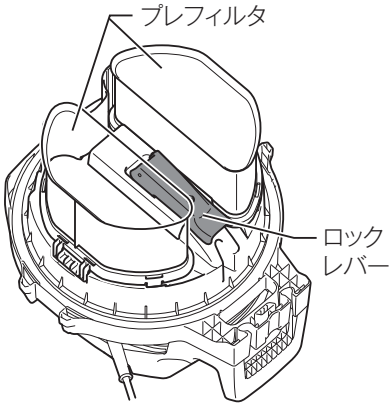
・ スイッチを入「ON」にして運転すると、一定間隔でちり落としが自動的に作動します。作動時には若干の作動音や風量低下がありますが、異常ではありません。作業時の目詰まりによる風量低下を抑え、快適な作業が行えます。

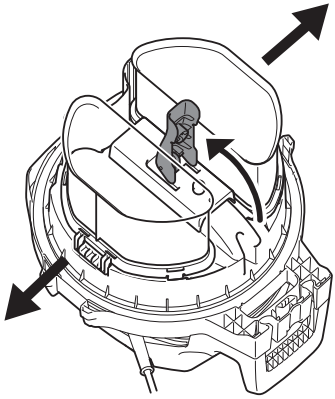
プレフィルタの取りはずし・取り付け方

・ タンクのフックをはずし、ヘッド部をはずします。

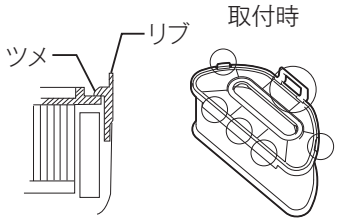


・ ヘッド部を裏返し、ロックレバーを持ち上げると、プレフィルタをはずすことができます。



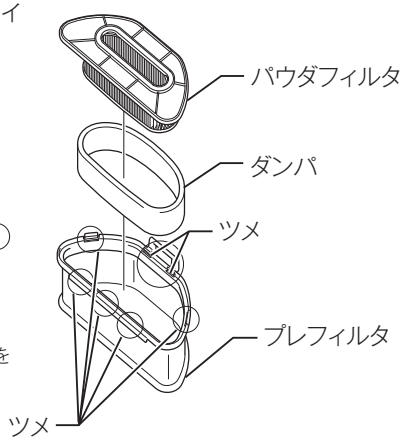


・ パウダフィルタ・ダンパ・プレフィルタは、それぞれはずれます。

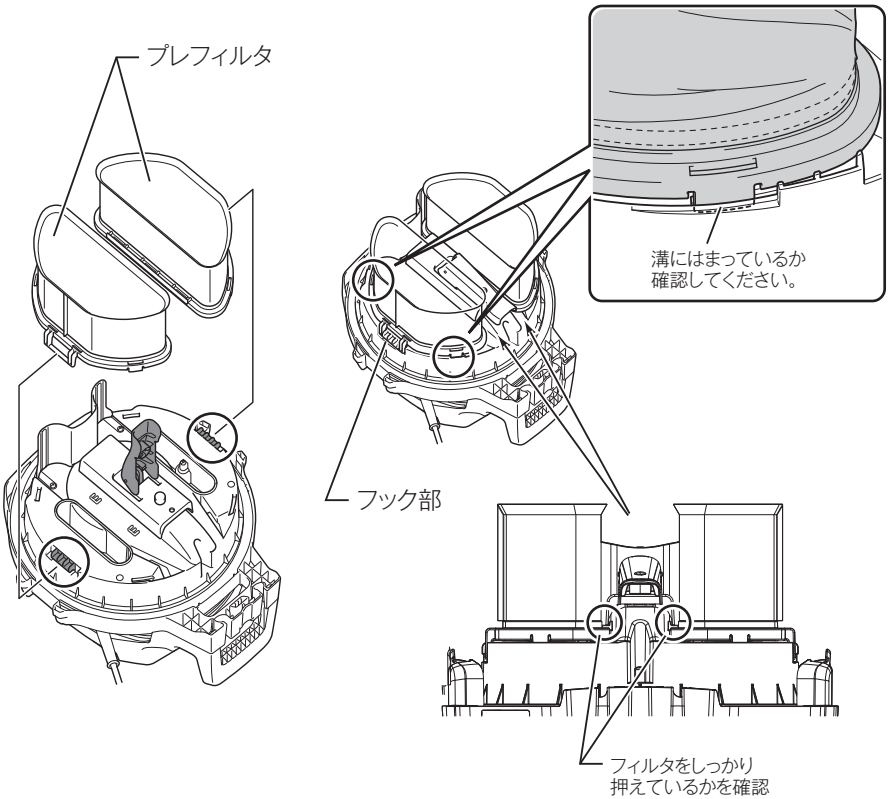


取付時

ツメがしっかりと
かかっていることを
確認



・ フィルタを取り付ける時は、図のようにフック部にフィルタをはめ、ロックレバーを閉じてください。



吸水時の自動吸い込み停止機構について

⚠ 警告

泡や石けん水などは吸い込まないでください。

・ 水位センサが正常に作動しない場合があります。このまま使用すると感電や故障の原因になります。

・ 本機には一定量以上の水を吸い込んだ際に、モータが自動でストップする水位センサが付いています。
・ タンク内に水が一杯になり、水位センサが作動した際は、水を捨ててから、スイッチを入れなおしてください。

⚠ 注意

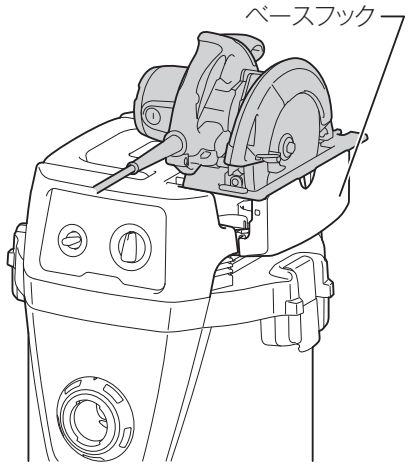
フィルタが濡れた際は、十分に乾かしてから使用してください。

・ 濡れたフィルタを使用すると動作不良の原因になります。繰り返し吸水する場合は標準付属のフィルタの代わりに別販売品の水用フィルタの使用をおすすめします。

ベースフックの使い方

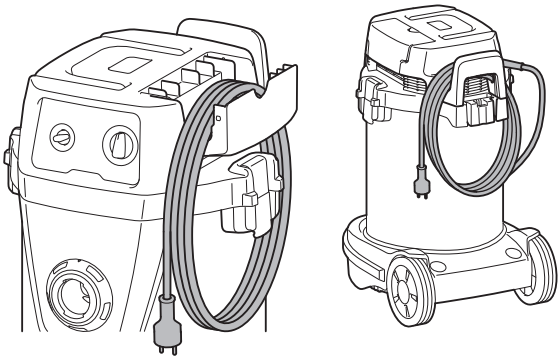
・ ベースフックを開くことで、次の用途などに使用することができます。

（1）マルノコなどの電動工具を載せる。



（2）コードの収納

・ コードはベースフックまたはフック部に巻きつけておくことができます。

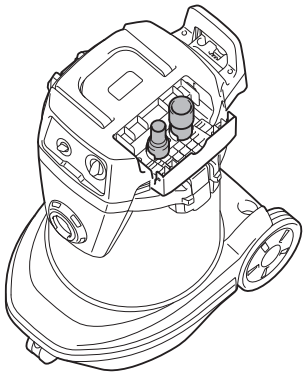


注

・ コードを巻いた状態で集じん機を使用しないでください。コードを傷めることがあります。

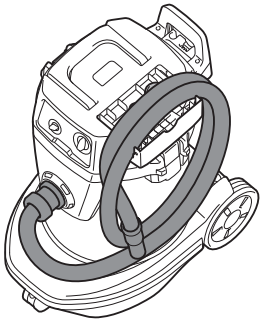
（3）カフスの収納

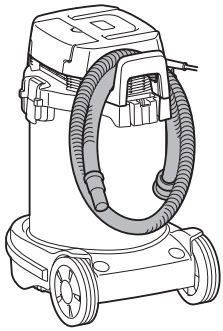
・ フロントカフス22やフロントカフス38が収納できます。



（4）ホースの収納

・ ホースはベースフックまたはフック部に巻きつけておくことができます。





注

・ ベースフックには過度の力を加えないでください。ベースフック部の破損の原因になります。使用しないときは閉じてください。

ゴミの捨て方

⚠ 警告

ゴミを捨てる際には、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

⚠ 注意

タンクに強い衝撃を与えないでください。

・ 変形･破損の原因になります。

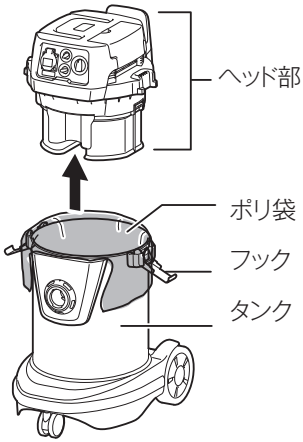
ゴミの吸引量にもよりますが、タンク内のゴミは毎日 1 回以上捨ててください。

・ 吸引力の低下やモータの故障の原因になります。

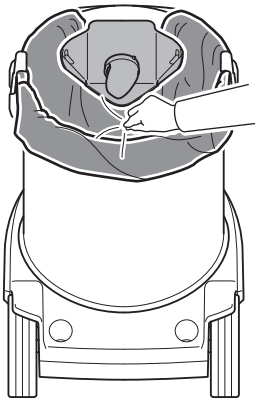
タンク内のゴミを捨てるときは、フックを持たないでください。

・ フックが破損する原因になります。

・ フックをはずしてヘッド部をタンクから取りはずします。



・ ゴミをポリ袋に落としてタンクからポリ袋を取り出してください。



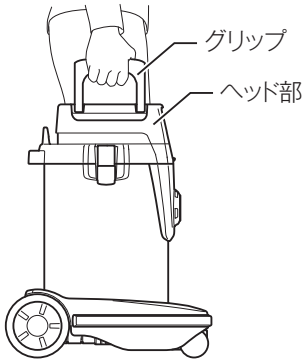
注

・ ゴミの溜まったポリ袋を本機から取り出す際はタンク内の突起部に引っ掛けないようにポリ袋を取り出してください。
・ ゴミを溜めすぎると重くなりポリ袋が破れる恐れがありますので、ゴミはこまめに処分してください。

運搬・収納

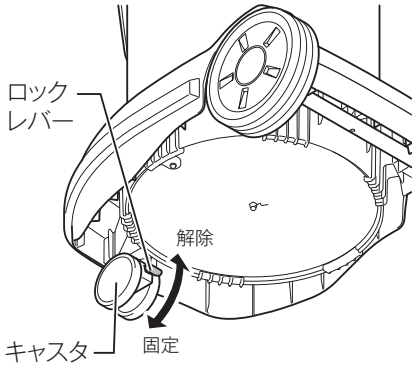
グリップの使用方法

・ 運搬・移動する場合は、図のようにヘッド部のグリップを持って行います。グリップを使用しない場合はヘッド部に収納できます。



キャスタの固定・解除

・ キャスタ（ストッパ付）のロックレバーを下げると車輪の回転が固定されます。車輪の固定を解除する場合は、ロックレバーを上げます。
・ 本機を収納する場合、作業を中断する場合、作業中など、本機の動きを止めておきたい場合に便利です。

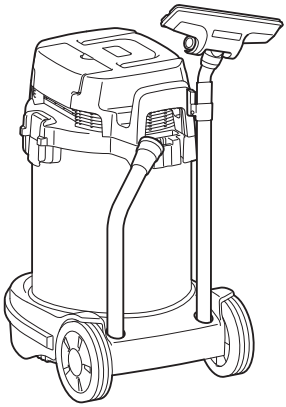


注

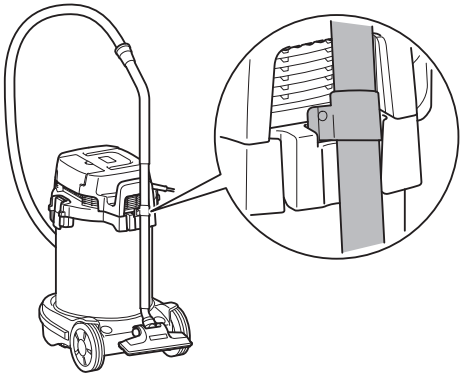
・ 本機を移動する場合は、キャスタの固定が解除されていることを確認してください。キャスタの破損の原因になります。

付属品の収納方法

・ パイプ立てにストレートパイプ、ベンディングパイプなどを差し込んで収納できます。



・ お掃除を途中で一時中断したときに、パイプホルダにパイプを立てられます。



保守・点検について

⚠ 警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

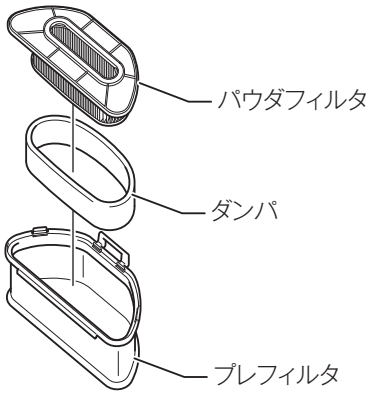
・ 電源プラグを電源コンセントにつないだまま行うと、感電や事故の原因になります。

ぬれた手で作業しないでください。

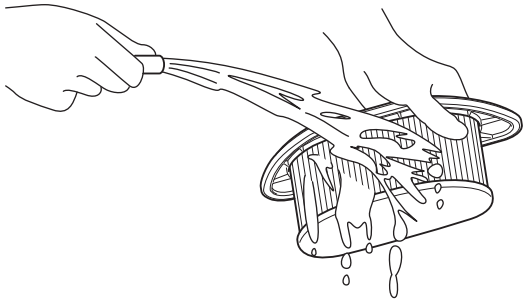
・ 感電やけがの原因になります。

パウダフィルタ・ダンパ・プレフィルタの清掃

・ プレフィルタの目詰まりは吸引力を著しく低下させますので、パウダフィルタ、ダンパ等に付着した粉じんはこまめに取り除いてください。
・ プレフィルタが濡れてしまった場合は、一度乾かしてからご使用ください。



・ パウダフィルタは水洗いができますので定期的（1～2ヵ月毎）に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後はパウダフィルタを陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。



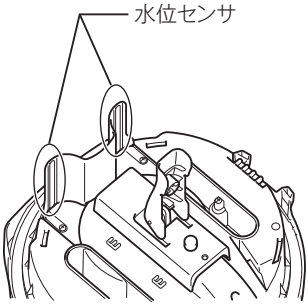
注

・ ブラシ･ヘラ等硬いものでパウダフィルタ、ダンパ、プレフィルタをこすって傷を付けないようにしてください。
・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。

保守・点検について

水位センサの清掃

・ 水位センサはエアフィルタを交換する際に時々やわらかい布で水位センサをふいてください。



本機のお手入れ

・ 乾いた布できれいに拭いてください。

注

・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

メモ

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）

882687B8
IWT